

二老山和田寺本堂屋根改修工事に伴う

銅板祈願奉納のご案内

謹賀新春 年の初めに当たり、神仏のご加護と皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご挨拶を申し上げますと共に本年もよろしくお願い申し上げます。

新年早々にて恐縮に存じますが、左記ご案内申し上げます。

さて、当山におきましては、去る平成十六年に襲来しました十六号台風により、本堂の屋根の三面の銅板が剥離したり、又、二十三号台風では倒木により本堂の便所の屋根が破損、仁王門の横板が外れ、飛び散る等種々の被害がありました。本堂の被害状況修復の必要性の程度等について専門家に調査を依頼しましたところ、屋根部分については全面的に改修する必要があることの指摘を受け、役員・総代一同慎重に審議の結果、屋根（一部天井部分を含む）を全面的に改修することとし、工事費は建物保険の給付金及び寺有財源支出により施工することに致しました。

屋根葺き用の銅板はすべて新調致しますが、本堂は縁あるもの、祈るものすべてを常時ご加護下さっている当山のご本尊千手観世音菩薩の堂宇でありますので、住職、役員、総代をはじめ檀信徒、霊園墓地ご使用の皆様方一同で、あらゆる願いをこめて、手をとりあつて雨漏りを防ぎ、屋根を守り、ご本尊様を、お守りしようとの思いをもって「願いごと」と「祈願主」を写した銅板を奉納させていただくことと発願致しました。

これは、決して強制するものではありません。右趣旨にご賛同いただき、祈願奉納をご希望の方は、別紙申込み方法等ご確認の上お申込み下さい。

当山山頂より現在地に「ご本尊様を」ご遷座申し上げて以来六一六年目を迎えます。この機会にご夫婦、ご家族の皆様あいごぞつて「心のよりどころ」としての当山とのかかわりを更に深めていただければ誠に幸甚に存じます。

平成十七年一月吉日

二老山 和田寺

代表役員(住職) 武内 普照
檀信徒総代会長 溝畑 昭典

各位

銅板祈願奉納申込等について

一、祈願奉納志納金 銅板一枚（一名一祈願記入します）につき一〇〇〇円

二、願いごと記入例（左のことばの中から選ぶか、その他の願いごとを、七字以内程度で記入して下さい。）

家内安全 息災延命 身体健全 健康増進 (諸病) 平癒
福德開運 除災招福 大願成就 子孫繁栄 (学業) 上達
事業完成 商売繁盛 交通安全 五穀豊穰 良縁祈願 等
右の「願いごと」と「願主名」を和田寺住職が銅板に書写します。

三、申込方法と期日

同封の郵便振替用紙（払込取扱票 赤字分）に左記の事項等記入して郵便局窓口へ又は直接和田寺へお申し込み下さい。

通信欄 祈願者 願いごと（一人につき一つ）を記入
金額欄 祈願の銅板枚数×一、〇〇〇円の合計額（送金額）記入
ご依頼人（払込人）の「ところ」「なまえ」
祈願者二人以上の場合にはどなたか代表の人の氏名・住所等ご記入下さい。

申込期日 平成十七年 三月 二十五 日（受付局日付分）迄に
お申し込み下さい。（送金手数料は和田寺が負担します。）

その他

直接和田寺へお申し込みの場合も、払込取扱用紙に所定事項をご記入の上、志納金を添えてお申込み下さい。
申し込み受付は右の二通りの方法と致します。他の方法での申し込みはトラブルの元になる場合がありますので、ご遠慮下さいますようお願いいたします。

四、工事を完了落慶式典後、右お申し込みの方には、ご本尊千手観世音菩薩の名刺型のお守りを授与させていただきます。サイフ、カバン等身のまわりのどこかにお持ちいただけるようにと考えております。

和田寺本堂・本尊歴史年表

1337年（南北朝建武4年）	本尊千手観世音菩薩造立 （奈良方法橋裕円作、権の木寄木造り丈三尺）
1389年（北朝康応元年）	8月僧良海 山頂より和田谷（現在地）へ 本尊（厨子入り）移し、本堂再建
1507年（室町永正）	足利義澄公本堂修理
1639年（江戸寛永16年）	本堂再建（現存）
1738年（江戸元文3年）	本堂内宮殿建立
1950年（昭和25年）	本堂屋根かや葺きを瓦葺にかえる
1955年（昭和30年）	本堂増改修（裏堂・回廊）
1962年（昭和37年）	本堂屋根銅板に葺きかえ
1970年（昭和45年）	本尊千手観音を佐川定慶修理
1977年（昭和52年）	本堂改修（外障の床・外柱回廊） 現存の本堂は1639年に建立され、以来度重なる修理等を加えながら今日に至っていますが、内部の柱等は建立当時のもので、約365年経過しています。 又、ご本尊は約667年前につくられ、当初は和田寺山山頂で祀られていたものです。